

平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年2月12日

上場会社名 株式会社 第一興商 上場取引所 大
 コード番号 7458 URL <http://www.dkkaraoke.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 林 三郎
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 小林 成樹 TEL 03 (3280) 2151
 四半期報告書提出予定日 平成25年2月14日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績（平成24年4月1日～平成24年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	96,621	0.7	15,155	3.3	17,160	7.6	9,994	20.5
24年3月期第3四半期	95,968	△0.1	14,673	4.6	15,941	8.5	8,297	3.3

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 11,346百万円 (33.7%) 24年3月期第3四半期 8,484百万円 (2.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	161.61	—
24年3月期第3四半期	129.88	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	153,363	95,822	61.8
24年3月期	142,238	93,804	65.3

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 94,788百万円 24年3月期 92,826百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	25.00	—	30.00	55.00
25年3月期	—	25.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	30.00	55.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	128,000	0.6	18,800	0.1	20,600	0.3	12,000	12.3	200.93

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細につきましては、【添付資料】P. 4「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年3月期3Q	59,725,000株	24年3月期	63,420,596株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	2,667株	24年3月期	602,863株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年3月期3Q	61,841,275株	24年3月期3Q	63,881,411株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】P. 3「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(5) セグメント情報等	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間（平成24年4月1日～平成24年12月31日、以下「当第3四半期」という。）におけるわが国経済は、欧州における景気後退の長期化や中国事情を背景とした輸出の落ち込みに加えて、震災復興需要に支えられてきた景気も期後半からは後退局面に入り、先行き不透明な状況で推移いたしました。

この様ななか、当社グループは、業務用カラオケ事業において10月に発売した新商品群を中心としたDAM拡販およびエルダー市場の拡大に注力いたしました。また、カラオケ・飲食店舗事業では、期初より様々な店舗の差別化施策を実施し、集客および顧客満足度の向上に努めました。音楽ソフト事業では、若手アーティストの育成に注力いたしました。

以上の結果、当第3四半期の売上高は音楽ソフト事業とその他の事業が減収となったものの、業務用カラオケ事業とカラオケ・飲食店舗事業が増収となり、96,621百万円（前年同期比0.7%増）となりました。利益面におきましては、業務用カラオケ事業では、先行投資による営業費用の増加はあったものの前期実績を確保し、カラオケ・飲食店舗事業、音楽ソフト事業、その他の事業も増益となったことから営業利益は15,155百万円（同3.3%増）、経常利益は為替差益など営業外収益の増加により17,160百万円（同7.6%増）、四半期純利益は、特別損益の改善により9,994百万円（同20.5%増）となりました。

(百万円)

	前第3四半期 累計	当第3四半期 累計	対前期増減	増減率
売上高	95,968	96,621	652	0.7%
営業利益	14,673	15,155	482	3.3%
経常利益	15,941	17,160	1,219	7.6%
四半期純利益	8,297	9,994	1,697	20.5%

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(業務用カラオケ)

当事業におきましては、10月に発売した、最高機種種「L I V E D A M G O L D E D I T I O N」、ナイト市場向け商品として初めて背景映像をフルHD化した「C y b e r D A M H D」、今後の展開が期待されるタブレット型新世代デนมック「S m a r t D A M」など新商品の評価は高く、DKエルダーシステム推奨機「F R E E D A M」の順調な出荷と重点戦略地域への営業強化による機器貸付件数増加もありDAM稼働台数は順調に増加しております。

(百万円)

	前第3四半期 累計	当第3四半期 累計	対前期増減	増減率
売上高	47,342	48,573	1,231	2.6%
営業利益	9,608	9,644	35	0.4%

(カラオケ・飲食店舗)

当事業のカラオケルームにおきましては、「選べるビッグエコー」として3つの店舗ブランドを積極的に展開しております。また、インテリアショップ監修の女性専用フロアと期間限定のアーティストルームやアニメコラボルームの設置、顧客ニーズに合わせたコンセプトルーム展開など店舗の差別化を図り、集客と顧客満足度の向上に取り組みました。飲食店舗におきましては、市場の変化や地域性、客層に合せた業態の変更や複合に取り組みました。

(百万円)

	前第3四半期 累計	当第3四半期 累計	対前期増減	増減率
売上高	33,924	34,450	525	1.5%
営業利益	5,718	5,780	62	1.1%

(音楽ソフト)

当事業におきましては、音楽配信売上が引き続き軟調に推移するなか「ソナーポケット」や「MAN WITH A MISSION」などの若手アーティストの作品群や、「Perfume」所属時の楽曲からダンスをテーマにセレクトしたコンピレーションアルバムが売上に貢献するほか、経営効率を重視したコストコントロールにより収益は順調に推移いたしました。

(百万円)

	前第3四半期 累計	当第3四半期 累計	対前期増減	増減率
売上高	8,117	7,787	△330	△4.1%
営業利益	912	960	48	5.3%

(その他)

当事業の携帯電話向けコンテンツサービスでは、コンテンツの統廃合によりコスト低減に努めました。また、衛星放送事業におけるTVチャンネルの撤退効果など、事業の見直しにより収益が大きく改善いたしました。

(百万円)

	前第3四半期 累計	当第3四半期 累計	対前期増減	増減率
売上高	6,584	5,809	△774	△11.8%
営業利益	556	960	403	72.5%

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ11,124百万円増加し、153,363百万円となりました。

増減の主なものとしては、流動資産では、現金及び預金が3,651百万円及びたな卸資産が1,527百万円それぞれ増加し、受取手形及び売掛金が156百万円減少しております。

固定資産では、投資有価証券が2,442百万円及びカラオケ賃貸機器が1,513百万円それぞれ増加し、無形固定資産のその他に含まれる音源映像ソフトウェアが213百万円減少しております。

負債の部につきましては、前連結会計年度末に比べ9,106百万円増加し、57,540百万円となりました。

増減の主なものとしては、流動負債では、支払手形及び買掛金が3,440百万円増加し、未払法人税等が2,764百万円及び短期借入金が634百万円それぞれ減少しております。

固定負債では、社債が10,000百万円増加しております。

純資産の部につきましては、前連結会計年度末に比べ2,018百万円増加し、95,822百万円となりました。

これは主に、四半期純利益による利益剰余金の増加9,994百万円、その他有価証券評価差額金の増加1,275百万円、剰余金の配当による利益剰余金の減少3,429百万円及び自己株式の取得による減少5,895百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の国内経済は、円安・株高による景気の持ち直しが期待されるものの、個人消費については依然として不透明な状況で推移するものと思われれます。

この様ななか、通期の見通しにつきましては、第3四半期までの業績を鑑み、売上高の未達が予想されることから、平成24年11月9日に公表した業績予想から変更し、売上高を通期で1,280億円としましたが、営業費用などの圧縮に努め、営業利益は前回公表額188億円を確保する見込みです。また、為替差益など営業外収益の増加が見込まれることから、経常利益を206億円、当期純利益を120億円と変更したことに伴い、それぞれの利益は過去最高を更新する見込みであります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ270百万円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	34,219	37,870
受取手形及び売掛金	7,007	6,851
たな卸資産	5,155	6,682
その他	6,255	6,668
貸倒引当金	△130	△141
流動資産合計	52,508	57,932
固定資産		
有形固定資産		
カラオケ賃貸機器(純額)	6,180	7,693
カラオケルーム及び飲食店舗設備(純額)	14,479	15,030
土地	24,316	24,569
その他(純額)	6,097	7,324
有形固定資産合計	51,074	54,617
無形固定資産		
のれん	472	363
その他	6,081	5,923
無形固定資産合計	6,553	6,286
投資その他の資産		
投資有価証券	13,892	16,334
敷金及び保証金	12,805	12,937
その他	5,656	5,512
貸倒引当金	△251	△258
投資その他の資産合計	32,102	34,525
固定資産合計	89,730	95,430
資産合計	142,238	153,363

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,328	6,768
短期借入金	5,554	4,919
未払法人税等	5,353	2,589
賞与引当金	1,062	819
その他	10,861	10,189
流動負債合計	26,159	25,286
固定負債		
社債	—	10,000
長期借入金	15,004	14,756
退職給付引当金	3,299	3,596
役員退職慰労引当金	2,220	2,014
負ののれん	190	157
その他	1,559	1,728
固定負債合計	22,274	32,253
負債合計	48,433	57,540
純資産の部		
株主資本		
資本金	12,350	12,350
資本剰余金	12,905	6,026
利益剰余金	68,730	75,294
自己株式	△989	△5
株主資本合計	92,996	93,665
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	793	2,068
土地再評価差額金	△777	△777
為替換算調整勘定	△186	△168
その他の包括利益累計額合計	△170	1,122
少数株主持分	978	1,034
純資産合計	93,804	95,822
負債純資産合計	142,238	153,363

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	95,968	96,621
売上原価	56,100	56,018
売上総利益	39,868	40,602
販売費及び一般管理費	25,194	25,447
営業利益	14,673	15,155
営業外収益		
受取利息	525	509
受取配当金	90	82
負ののれん償却額	32	32
為替差益	—	928
その他	1,030	841
営業外収益合計	1,678	2,394
営業外費用		
支払利息	218	220
その他	192	169
営業外費用合計	410	389
経常利益	15,941	17,160
特別利益		
固定資産売却益	24	32
投資有価証券売却益	19	—
特別利益合計	44	32
特別損失		
固定資産処分損	157	198
減損損失	2	78
関連事業整理損	678	—
その他	22	—
特別損失合計	861	276
税金等調整前四半期純利益	15,125	16,917
法人税、住民税及び事業税	6,517	6,678
法人税等調整額	261	185
法人税等合計	6,778	6,863
少数株主損益調整前四半期純利益	8,346	10,053
少数株主利益	49	59
四半期純利益	8,297	9,994

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	8,346	10,053
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	204	1,275
為替換算調整勘定	△66	18
その他の包括利益合計	138	1,293
四半期包括利益	8,484	11,346
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	8,435	11,287
少数株主に係る四半期包括利益	49	59

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

【セグメント情報】

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額
	業務用 カラオケ	カラオケ・ 飲食店舗	音楽ソフト	計				
売上高	47,342	33,924	8,117	89,384	6,584	95,968	—	95,968
セグメント利益 (営業利益)	9,608	5,718	912	16,239	556	16,796	△2,123	14,673

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、衛星放送事業、Web事業及び不動産賃貸事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△2,123百万円は、主に報告セグメントに帰属しない本社の管理部門における一般管理費であります。

当第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額
	業務用 カラオケ	カラオケ・ 飲食店舗	音楽ソフト	計				
売上高	48,573	34,450	7,787	90,811	5,809	96,621	—	96,621
セグメント利益 (営業利益)	9,644	5,780	960	16,385	960	17,346	△2,190	15,155

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、衛星放送事業、Web事業及び不動産賃貸事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△2,190百万円は、主に報告セグメントに帰属しない本社の管理部門における一般管理費であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更に記載のとおり、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更したため、報告セグメントの減価償却方法を改正後の法人税法に基づく方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べ、当第3四半期連結累計期間の「業務用カラオケ」のセグメント利益は209百万円、「カラオケ・飲食店舗」のセグメント利益は58百万円、「音楽ソフト」のセグメント利益は0百万円、「その他」のセグメント利益は2百万円、「調整額」のセグメント利益は0百万円、それぞれ増加しております。